

日本万引防止システム協会 平成27年度通常総会  
議案書

日時:平成 27 年 6 月 2 日(火) 開催

場所:主婦会館プラザエフ 9階スズラン

日本万引防止システム協会

# 日本万引防止システム協会平成 27 年度通常総会開催概要

- 日時 2016 年 6 月 2 日 (火) 14:00～ (受付開始 13:30)
- 主婦会館プラザエフ 第 1・2 部 9F スズラン 第 3 部 8F スイセン  
東京都千代田区六番町 15 番地 TEL 03-3265-8111

## 第 1 部 総会 (14:00～14:45) <9 階スズラン>

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議案  
第 1 号議案：平成 26 年度事業報告、収支決算の件  
第 2 号議案：理事 2 名、監事 1 名選任の件  
第 3 号議案：平成 27 年度事業計画、収支予算の件  
第 4 号議案：新活動宣言発出検討の件
5. 閉会

## 第 2 部 記念講演会 (15:00～16:45) <9 階スズラン>

### 1. “万引き対策は働く者に対する安全配慮義務にかかわる重要な課題である”

警視庁 犯罪被害者支援室 命の大切さを学ぶ教室 講師 桶田 清順 様

警察大学校教授、交通安全のために活動する交通機動隊長、蔵前警察署長などを歴任。平成 14 年に警視庁を退官され、現在は、警視庁 犯罪被害者支援室が推進している都内中高校生に対する「命の大切さを学ぶ教室」において「加害者にならない・被害者にならない」ために、また警察署犯罪被害者支援ネットワーク会員や警察官に対する「被害者支援の重要性・必要性」などに関する講演活動を行う。

当協会が設立された平成 14 年の夏、東京駅構内のコンビニの総括店長をしていた長男順彦(まさひこ)氏 33 歳は、店内でおにぎりなどを万引きした犯人を呼び止めて事情を聞くため事務所への同道途中に、隠し持っていたナイフで腹部を刺されるも、犯人が逃走を図ったため咄嗟にこれを追跡し、力尽きて命を失うことになった。

### 2. “地域の安全安心のために大同団結・窃盗撲滅プロジェクトの驚くべき成果”

株式会社市川ビル 窃盗撲滅プロジェクト(SBP) CD 推進部長 長田 泰文 様

窃盗(=万引)撲滅プロジェクト(SBP)の継続。警察のご指導で駅周辺連絡協議会も発足。1) 防犯カメラ数百基、2) 防犯ゲート全階設置、3) 顔認証システム導入などにより、商品ロス高は順調に低減し、活動前の 8 割まで削減する。窃盗犯罪抑止で得られたお店の損失回復額の一部は地域の消費者・生活者に還元されている。

## 第 3 部 意見交換会 (17:00～18:30) <8F スイセン>

来賓挨拶、新役員挨拶ほか

# 日本万引防止システム協会

## <協会活動の主旨>

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために以下の活動を行う。

1. 万引防止システムの円滑な普及、発展に資する制度・政策・計画等を建議し、実行する。
2. 行政機関、関連団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整を行う。
3. 万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とした活動を行う。

## (第1号議案) 平成26年度事業報告、収支決算の件

### 1. 事業の概要

日本万引防止システム協会（略称 JEAS）は、お蔭様を持ちまして設立14年目を迎えます。この間、EAS機器等の万引防止システムの健全な普及促進を目的に、多くの諸課題に取り組み、成果を生んでまいりました。これもひとえに、会員の皆様をはじめ、関係省庁、関連団体の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

最近の万引犯罪の状況ですが、わが国の刑法犯認知件数がここ10年で半減する中で、万引犯罪の減少傾向は弱く全刑法犯認知件数の10.0%を占めるに至っています。またその特性としても高齢者の犯罪が少年を上回る社会的問題化や組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、悪質化が目立ってきています。

このような環境下において、当協会として平成26年度は次の3つの活動に注力しました。

1番目として、各社がもっとも期待する市場拡大にむけての取組みを重視しました。一例として、昨年8月と本年3月に、経済産業省経済産業政策局産業再生課の協力をいただき生産性向上設備投資促進税制に関するセミナーを開催しました。この情報は、各会員企業を通じユーザー各位にもお伝えし、あらたに防犯機器の導入の呼び水となりました。その税制申請の際には、昨年6月に発表した万引防止機器ロス対策報告書にある、導入後のロス率平均23.7%削減という効果データが役立ちました。

2番目として、昨年末に総務省が行った「ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件に関するパブリックコメント募集」に関して、EAS機器の正常な稼働を担保するために、EAS全方式の会員企業が足並みを揃え、技術要望を提出したことは重要な協会活動として位置づけされるものです。

3番目として、ユーザーのご満足度向上に向け、研鑽の場としての「15分間勉強会」の継続実施、若手社員の基礎知識の向上にむけた「JEAS講習会」の開催、会報では特集「業界で活躍する女性の紹介」を企画しました。東京オリンピックに向けて、防犯業界はこれからますます飛躍する分野だという期待感があります。それに応えるためにも、万引防止業界を担う人材育成を何よりも重視しております。

協会外の活動においても、東京万引き防止官民合同会議主催の「万引防止のための防犯責任者養成講座」や「万引き防止対策『モデル店舗』認定制度」などへの協力、さらには各地の万引防止講習会への講師派遣や資料提供などに力を尽くしております。

お客様が求めている「安全・安心・快適な環境のお店を作ること」または「不明ロスを限りなく減少させること」を達成するため、当協会は現在の犯罪情勢、犯罪特性にマッチした新しい万引防止システムやサービスの開発、そしてその運用支援・サポートに力を注いでいかなければならないと思います。と同時に「ソースタギング」のような社会的な仕組みを作り、お客様を側面支援していくことも大変重要な取り組みとなっております。

## 2. 協会の活動報告

### <理事会>

平成 26 年 4 月 22 日  
平成 26 年 6 月 3 日(総会)  
平成 26 年 7 月 8 日  
平成 26 年 9 月 18 日  
平成 26 年 11 月 20 日  
平成 27 年 1 月 28 日  
平成 27 年 3 月 24 日

### <運営委員会>

平成 26 年 4 月 22 日  
平成 26 年 5 月 15 日  
平成 26 年 7 月 3 日  
平成 26 年 9 月 18 日  
平成 26 年 11 月 20 日  
平成 27 年 1 月 28 日  
平成 27 年 3 月 24 日

## 3. 各委員会活動報告

(1) ユーザー団体幹部との万引犯罪防止対策会議、関係官庁よりの連絡対応及び委員派遣

- 平成 26 年 4 月 8 日モデル店舗審査・セブンイレブン秋葉原駅北店※1
- 平成 26 年 5 月 22 日第 1 回防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会※2
- 平成 26 年 5 月 22 日万引防止のための防犯責任者養成講座出前講座(港区)※1
- 平成 26 年 6 月 23 日第 2 回防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会※2
- 平成 26 年 7 月 15 日万引防止のための防犯責任者養成講座出前講座(八王子)※1
- 平成 26 年 7 月 18 日第 3 回防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会※2
- 平成 26 年 7 月 25 日福岡県万引防止協議会・3社機器プレゼン
- 平成 26 年 6 月 30 日第 4 回「万引き追放SUMMERキャンペーン」※1
- 平成 26 年 9 月 1 日第 8 回万引防止のための防犯責任者養成講座※1
- 平成 26 年 9 月 3 日第 4 回防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会※2
- 平成 26 年 10 月 8 日調査研究委員会:増井委員長※1
- 平成 26 年 10 月 10 日教育研修委員会:若松委員長※1
- 平成 26 年 10 月 21 日第 5 回防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会※2
- 平成 26 年 10 月 14 日万引防止のための防犯責任者養成講座出前講座(東村山)※1
- 平成 26 年 10 月 24 日広報委員会:桑島委員長※1
- 平成 26 年 10 月 29 日防犯設備委員会:池野委員長※1
- 平成 26 年 11 月 4 日総務委員会:桜井委員長(警視庁生活安全総務課長)※1
- 平成 26 年 11 月 12 日委員長会議:土方共同議長(日本小売業協会会長)主催※1
- 平成 26 年 11 月 26 日第 10 回東京万引防止官民合同会議※1
- 平成 27 年 3 月 6 日 防犯画像の取扱いに際してのセキュリティポリシー構築に向けてセミナー※2
- 平成 27 年 2 月 25 日臨時合同会議:各委員長及び各委員※1

※1 東京万引き防止官民合同会議主催

※2 NPO 法人全国犯罪防止機構主催

## (2) 政策・研究委員会

- ・平成 26 年 4 月 16 日、5 月 28 日、7 月 2 日、9 月 11 日、11 月 12 日、平成 27 年 1 月 22 日、3 月 19 日に開催
- ・ユーザーアンケート調査報告書のダイジェスト版作成
- ・市場規模調査 4 月実施。通常総会で発表
- ・15 分勉強会：日防設の優良防犯機器制度に学ぶ、店長が学ぶ実践商品ロス対策、「EAS 機器におおるス、プリアス規制」、「盗難保険・万引き危険担保特約に学ぶ」、「棚卸業務・不明ロス削減ソリューションについて」、「通過型全方向スキャナシステム」

## (3) ソースタギング推進委員会(プロジェクト)

- ・平成 26 年 8 月 20 日日本チェーンドラッグストア協会防犯・有事委員会と会員 2 社との打ち合わせ
- ・平成 26 年 12 月 3 日経産省情報通信機器課の三浦課長にソースタギングの意義を説明する (JEAS NEWS23 号参照)

## (4) 技術基準委員会

- ・平成 26 年 4 月 17 日、5 月 21 日、7 月 16 日、9 月 25 日、10 月 16 日、平成 27 年 2 月 21 日、3 月 18 日に開催
- ・平成 26 年 9 月 18 日スプリアス規制の勉強会資料作り
- ・平成 26 年 10 月 11 日総務省電波環境課訪問
- ・平成 27 年 1 月 28 日総務省電波部電波環境課よりの指導内容の伝達
- ・平成 27 年 2 月 20 日国内外の規格・基準等に基づく試験や認証に関するセミナー開催
- ・平成 27 年 3 月 3 日・4 日総務省 MRA 国際ワークショップ 2015 参加
- ・北大での干渉テストの継続実施 (平成 26 年 6 月 2 社 2 機種実施)
- ・ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件に関するパブリックコメント募集対応
- ・電磁環境工学情報 月刊 EMS の掲載原稿作成
- ・認定機器制度の検討
- ・RF ワーキングサポート

## (5) RFワーキンググループ

- ・平成 26 年 4 月 23 日、6 月 10 日、7 月 16 日、11 月 5 日、12 月 10 日に開催
- ・平成 26 年 3 月 JQA 試験での出力検査内容の確認
- ・電波法に対する EAS 機器対応の検討
- ・総務省総合通信基盤局電波部電波環境課よりの指導内容の確認。本件に関しては各社が責任を持って対応することが決定した

## (6) 防犯画像利用状況の調査委員会

- ・平成 26 年 4 月 2 日、5 月 14 日に開催
- ・防犯画像のガイドラインの策定は必要と判断する
- ・防犯カメラ規定(案)作成
- ・全国万引犯罪防止機構の防犯画像の取扱いに関する調査研究小委員会に摺田祐司委員を派遣す

る。

(平成 27 年 2 月 18 日全国万引犯罪防止機構が上記の防犯カメラ規定(案)を参考にし、提言を発表した)

#### (7)総務委員会

- ・平成 26 年 4 月 20 日、4 月 21 日、7 月 1 日、9 月 16 日、11 月 11 日、平成 27 年 1 月 22 日、3 月 19 日に開催
- ・平成 26 年 6 月 3 日 (火) 通常総会の開催  
**記念講演**  
“実態調査を店舗の万引対策に生かす” 香川大学 教育学准教授 大久保 智生様  
“正確な棚卸から始まるロス対策” 株式会社エイジス 常務取締役 近江 元氏様
- ・会長交代に伴う各種手続きと会員及び関係機関への案内
- ・会員増強の方策立案
- ・セキュリティショー2015 協会ブースと生産性向上設備投資促進税制セミナーの開催
- ・会報 JEAS ニュース 22 号、23 号の制作
- ・JEAS ステッカー&表示 POP 貼付促進 (合計数:26 年度 8 千枚、25 年度 19 千枚、24 年度 29 千枚)
- ・業界で活躍する女性を 2 名紹介。藤島さん、當間さん
- ・万引きさせない TOKYO キャンペーン協賛企画：機器の点検推進
- ・平成 27 年度版 万引防止年間チャート制作のためのデータ提供
- ・HP 上での音声付き協会説明動画制作
- ・ホームページのアクセス数: 上期 78,454 前年比 121%、下期 84,807 前年比 118%

#### <パブリシティ>

- 平成 26 年 6 月 10 日セキュリティ産業新聞・万引防止システムでロス率改善 7 割
- 平成 26 年 6 月 10 日セキュリティ産業新聞号・万引防止システムの市場規模
- 平成 26 年 6 月 10 日セキュリティ産業新聞・新会長に戸田秀雄氏
- 平成 26 年 6 月 11 日警備保障タイムズ・小売店舗の万引対策
- 平成 26 年 6 月 15 日警備新報・意見交換会の内容
- 平成 26 年 6 月 15 日ラベル新聞・防犯にマッチしたシステムを
- 平成 26 年 7 月 10 日セキュリティ産業新聞・記念会講演会特集
- 平成 26 年 9 月 10 日セキュリティ産業新聞・生産性向上設備投資促進税制に関するセミナー

脱会 1 社：(株)トスカバノック

休会 3 社： ACTUNI(株)、(株)コージン、コミー(株)

## 4. 会員名簿

### 【正会員】

#### 企業・団体名

アイアンドティテック (株)  
IDEC システムズ&コントロールズ(株)  
(株)エイジス  
(株)S-Cube  
NEC ソリューションイノベータ(株)  
エム・ケー・パピック(株)  
(株)岡村製作所  
(株)キャトルプラン  
(株)ジーネット  
シグマ(株)  
スリーエム ジャパン(株)  
西武産業(株)

#### 企業・団体名

セコム(株)  
セフトHD(株)  
高千穂交易(株)  
タカヤ(株)  
チェスコムアドバンス(株)  
(株)チェックポイントシステムジャパン  
(株)店舗プランニング  
松尾産業(株)  
ユニチカ(株)  
(株)三宅  
ユニパルス(株)

(以上 23 社)

### 【賛助会員】

#### 企業・団体名

無し

### 【特別会員】

#### 企業・団体名

公益社団法人 日本防犯設備協会  
一般社団法人 日本自動認識システム協会  
一般社団法人 全国警備業協会  
NPO 法人 全国万引犯罪防止機構  
タグ&パック事務局

※50 音順 (平成 26 年 3 月 24 日現在)

## 5. 平成 26 年度収支報告

平成26年度(第十三期)収支報告書案

平成27年3月31日

	収入		支出	
	予算	実績	予算	実績
<b>前期繰越額</b>	<b>3,824,613</b>	<b>3,824,613</b>	<b>1. 公益事業</b>	<b>5,610,046</b>
<b>1. 公益事業</b>	<b>5,940,800</b>	<b>4,545,190</b>	(1)人件費	300,000
(1)会費収入	3,225,000	2,590,000	(2)家賃	502,646
正会員 26社	2,905,000	2,510,000	(3)事業活動費	4,307,400
賛助会員 0社	0	0	①旅費交通費	30,000
新規加入 7のランク3社の目標	320,000	80,000	②通信費	190,000
(2)総会会費・新年会会費	0	0	③交際費	20,000
(3)ステッカー・POP売上	1,360,800	845,190	④会議費(会場費他)	60,000
(3)調査・研究受託事業(干渉試験)	1,355,000	1,110,000	⑤事務用消耗品	150,000
<b>2. 収益事業</b>	<b>60,000</b>	<b>52,000</b>	⑥運賃(宅配・メール便)	220,000
(1)教育事業	60,000	52,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	856,120
(2)出版事業	0	0	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	1,399,080
<b>3. その他</b>	<b>10,000</b>	<b>5,660</b>	⑨支払手数料	20,000
(1)受取利息	0	710	⑩租税公課	400
(2)雑収	10,000	4,950	⑪雑費	0
(単年度収入計)	6,010,800	4,602,850	⑫図書費	69,800
			⑬福利厚生費	0
			⑭会費	62,000
			⑮機器評価(干渉試験など)	1,230,000
			(4)総合費用	500,000
			<b>2. 収益事業</b>	<b>852,646</b>
			(1)人件費	300,000
			(2)家賃	502,646
			(3)収益事業等の制作費	30,000
			(4)予備費	20,000
<b>合計</b>	<b>9,835,413</b>	<b>8,427,463</b>	<b>合計</b>	<b>6,462,692</b>
			次年度繰越残高	<b>3,372,721</b>
<b>総計</b>	<b>9,835,413</b>	<b>8,427,463</b>		<b>3,150,901</b>
				<b>9,835,413</b>
				<b>8,427,463</b>



## 監査報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの平成 26 年度における会計及び業務の監査を行ない次の通り報告する。

### 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事会及び理事からの業務の報告を聴取し、合同委員会に出席し、監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。


### 2. 監査意見

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの期間における当協会の収支計算書類は適正かつ正確であり、指摘すべき事項は認められませんのでここにご報告申し上げます。

平成 27 年 6 月 2 日

日本万引防止システム協会

監事 伊藤 和賢 

同 喜多 慎一 

## (第2号議案) 理事2名、監事1名選任の件

本通常総会終結の時をもって、理事 松本 剛氏、理事 小原 史郎氏、並びに監事 喜多 慎一氏の退任により、新たに理事2名、監事1名の選任をお願いするものです。

理事候補者名、監事候補者名は次のとおりです。

理事 金村 真一氏(株式会社チェックポイントシステムジャパン 代表取締役社長)

理事 佐藤 圭三氏(株式会社キャトルプラン 代表取締役社長)

監事 山根 久和氏(セフトHD 株式会社 代表取締役社長)

上記以外の、理事及び監事については、平成26年度より任期2年で就任いただいておりますので、2号議案成立をもって、平成27年度の役員人事は以下のとおりとなります。

日本万引防止システム協会役職 (案)

No.	協会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易(株)	代表取締役社長	戸田秀雄
2	副会長	(株) 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	(株)チェックポイントシステム ジャパン	代表取締役社長	金村真一 (新任)
4	理事 (政策・研究委員会)	IDEC システムズ&コントロールズ(株)	取締役 セキュリティ事業部 部長	田和久典
5	理事 (政策・研究委員会)	キャトルプラン(株)	代表取締役社長	佐藤圭三 (新任)
6	理事 (政策・研究委員会)	スリーエムジャパン(株)	トラフィック セーフティ・セキュリティ事 業部 事業部長	飯田裕一
7	理事 (政策・研究委員会)	(株)ジーネット	セキュリティシステム部 部長	那谷幸平
8	理事 (政策・研究委員会)	(株)店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 (総務委員会)	(株)S-Cube	顧問	福井 昂
10	理事 (総務委員会)	西武産業(株)	取締役営業部長	樋口優平
11	理事 (総務委員会)	チェスコムアドバンス(株)	常務取締役	内藤正美
12	理事 (技術基準委員会)	タカヤ(株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
13	監事	松尾産業(株)	顧問	伊藤和賢
14	監事	セフトHD 株式会社	代表取締役社長	山根久和 (新任)

※平成26年11月20日開催の理事会にて、本通常総会での理事の就任をもって、金村真一氏が副会長に就任することが内定しております。

## 委員会

### 1. 総務委員会

【委員長】：福井氏 【委員】：内藤氏、樋口氏、田丸氏、會田氏、佐々木氏（新任）、米山氏（新任）

### 2. 政策・研究委員会

【委員長】：岡村氏（新任）【委員】：田和氏、佐久間氏、松崎氏、那谷氏、飛永氏、摺田氏（新任）

### 3. 技術基準委員会

【委員長】：田丸氏 【委員】：瀬澤氏、辻氏、多ヶ谷氏

## プロジェクト

### 1. ソースタギング推進委員会

【委員長】：三宅氏 【委員】：菊地氏、佐久間氏、佐藤聖氏

### 2. 防犯画像利用状況の調査委員会

【委員長】：三宅氏 【委員】：新井氏、樋口氏、摺田氏、佐藤氏、甲斐氏、鏡沼氏

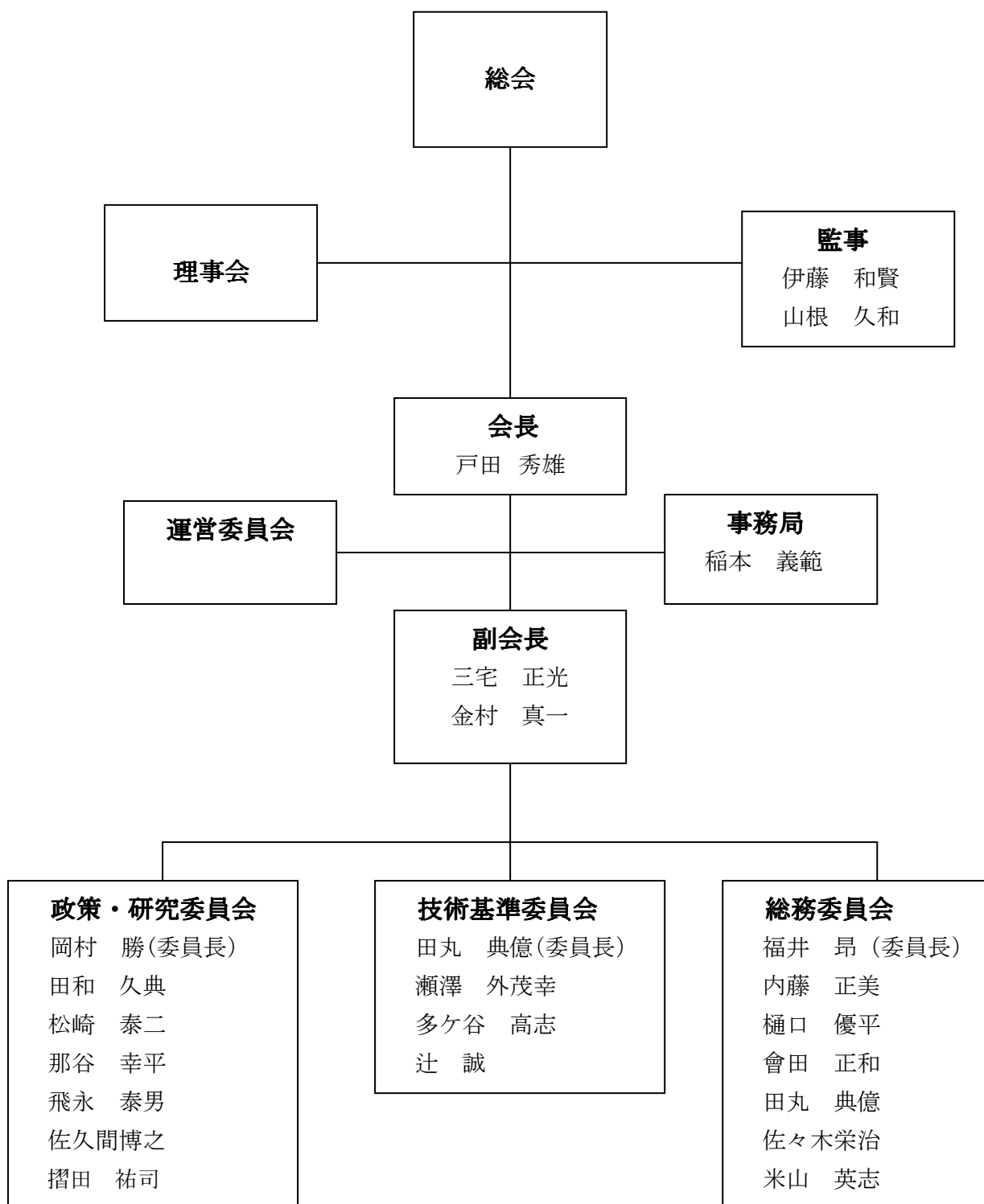
【オブザーバー】：川崎氏、有馬氏

### 3. RFワーキンググループ

【ワーキング長】：辻氏、【委員】：甲斐氏、佐々木氏、田中氏、田丸氏

(順不同)

【平成 27 年度 日本万引防止システム協会組織図】（案）



## (第3号議案) 平成27年度事業計画、収支予算の件

### 1. 事業計画

#### **万引撲滅を通して犯罪の起きにくい社会の実現に向けてJEASの役割を果たそう!**

日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一のソリューション団体として、万引防止システム市場の円滑な拡大と発展を支えるための仕組みや制度づくり、万引防止システム普及のための調査研究、行政機関、各種団体、報道機関との連絡・調整等、活発な活動を繰り広げております。

本年度、当協会では、引き続き万引犯罪の抑止・撲滅を推進する活動を以下の観点で強化していく所存です。

#### **テーマ： ご満足度向上と市場拡大**

##### **～ 運用面強化、新市場開拓、各システムの相乗効果を目指す ～**

- 1) 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強
  - ・研修会や効果事例の紹介提案
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動
  - ・ご満足度向上と市場拡大に向けた、新活動宣言発出の検討(新)
  - ・企業TOPや業界団体への共同提案を企画など
  - ・2月スーパーマーケットトレードショー2016の出展・セミナーの開催(新)
  - ・3月セキュリティショー2016「万引防止・ロス削減ゾーン」の出展・セミナーの開催
  - ・平成28年度万引防止年間チャートの制作と配布
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
  - ・7月「万引防止システムのセルフチェックのお願い」の制作と配布(新)
  - ・15分勉強会の継続など
  - ・オムニチャンネルの成功店舗、スーパーや書店間の地域防犯会議の見学(新)
- 4) 心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動
  - ・EASステッカーやEAS導入店表示POPの普及促進、北大での干渉テストの継続実施
- 5) ソースタキングの関係業界への働きかけと実証実験の推進
- 6) 機器の信頼性アップのための対策推進
  - ・認定万引防止システム制度の研究
  - ・6月店舗責任者用ポケットマニュアルの制作及び配布(新)
  - ・組織的窃盗団への対応(特殊バック対策等)
- 7) 解除器の盗品流通防止活動
- 8) 万引防止システム関係に係る関係法令対策活動
  - ・電波法等関係法令の遵守
  - ・防犯画像の安全利用推進に向けたルール作り(新)
  - ・EAS機器等の法定耐用年数の短縮化に向けた働きかけ(新)
- 9) 業界発展を目的とした調査、提案活動
  - ・市場調査の準備
- 10) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化
  - ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省と連携
  - ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体と連携

## 2. 平成 27 年度事業予算案

### <収入予算案>

前期繰越額	・・・	3,150,901	
1. 公益事業	・・・	4,239,380	
・会費収入	・・・	2,845,000	
正会員	・・・	2,525,000	21社
新規加入	・・・	320,000	7のランク4社の目標
・ステッカー・POP売上	・・・	982,800	計1万3千枚（H26は8千枚、H25は1万9千枚、H24は2万9千枚）
・調査・研究受託事業（機器評価）	・・・	285,000	干渉テスト28万5千円
2. 収益事業	・・・	0	
・教育事業	・・・	0	
3. その他	・・・	4,950	
・雑収	・・・	4,950	ハンドブック第3版販売
今期収入計	・・・	4,117,750	
収入計（前期繰越金含む）	・・・	7,268,651	

### <支出予算案>

1. 公益事業	・・・	4,239,380	
(1) 人件費	・・・	300,000	
(2) 家賃	・・・	489,060	
(3) 事業活動費	・・・	2,930,320	
・旅費交通費	・・・	20,000	新規会員の加入促進のため
・通信費	・・・	180,000	回線使用料5万円、電話代12万円 切手代2千円、別納郵便8千円
・交際費	・・・	20,000	手土産代
・会議費（会場費他）	・・・	40,000	理事会会場費
・事務用消耗品	・・・	150,000	コピー代11万5千円、文具3万5千円
・運賃	・・・	190,000	メール便9万円、発送代行10万円
・印刷費（ステッカー・リーフレット）	・・・	767,520	ステッカー・POP制作55万円、封筒6万4千円 パンフレット5万9千円、会員証1万4千円、 ソースキック資料2万円、ポケットマニュアル3万5千円、 機器セルフチェック表2万5千円他
・宣伝広告費（HP・広報・調査）	・・・	1,217,400	24号25号会報19万5千円、HP更新5万



平成27年度(第十四期)予算案

収入			支出		
	(昨年度実績参考値)	予算		(昨年度実績参考値)	予算
<b>前期繰越額</b>	<b>3,824,613</b>	<b>3,150,901</b>	<b>1. 公益事業</b>	<b>4,452,391</b>	<b>4,239,380</b>
<b>1. 公益事業</b>	<b>4,545,190</b>	<b>4,112,800</b>	(1)人件費	300,000	300,000
(1)会費収入	2,590,000	2,845,000	(2)家賃	502,646	489,060
正会員 21社	2,510,000	2,525,000	(3)事業活動費	3,138,080	2,930,320
賛助会員 0社	0		①旅費交通費	10,000	20,000
新規加入 7のランク4社の目標	80,000	320,000	②通信費	169,040	180,000
(2)総会会費・新年会会費	0	0	③交際費	12,352	20,000
(3)ステッカー・POP売上	845,190	982,800	④会議費(会場費他)	12,808	40,000
(3)調査・研究受託事業(干渉試験)	1,110,000	285,000	⑤事務用消耗品	147,604	150,000
<b>2. 収益事業</b>	<b>52,000</b>	<b>0</b>	⑥運賃(宅配・メール便)	185,414	190,000
(1)教育事業	52,000	0	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	256,800	767,520
(2)出版事業	0	0	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	1,247,590	1,217,400
<b>3. その他</b>	<b>5,660</b>	<b>4,950</b>	⑨支払手数料	12,528	20,000
(1)受取利息	710	0	⑩租税公課	0	400
(2)雑収	4,950	4,950	⑪雑費	0	0
(単年度収入計)	4,602,850	4,117,750	⑫図書費	60,000	5,000
			⑬福利厚生費	0	0
			⑭会費	60,000	60,000
			⑮機器評価(干渉試験など)	963,944	260,000
			(4)総合費用	511,665	520,000
			<b>2. 収益事業</b>	<b>824,171</b>	<b>819,060</b>
			(1)人件費	300,000	300,000
			(2)家賃	502,646	489,060
			(3)収益事業等の制作費	21,525	10,000
			(4)予備費	0	20,000
<b>合計</b>	<b>8,427,463</b>	<b>7,268,651</b>	<b>合計</b>	<b>5,276,562</b>	<b>5,058,440</b>
			次年度繰越残高	<b>3,150,901</b>	<b>2,210,211</b>
<b>総計</b>	<b>8,427,463</b>	<b>7,268,651</b>		<b>8,427,463</b>	<b>7,268,651</b>



## (第4号議案) 新活動宣言発出検討の件

- 目的：万引防止システム（※1）のさらなるご満足度向上に向けての活動宣言作り。  
それぞれのEAS機器（※2）が高いパフォーマンス（※3）を発揮し、防犯画像などの新たな対策との相乗効果で、万引被害額（※4）削減を目指すための活動方針を宣言したい。
- 進め方：今後、政策・研究員会にて「JEAS 新活動宣言」を起案し、理事会で審議および承認を経て、総会にて発表する。

以上を検討する。

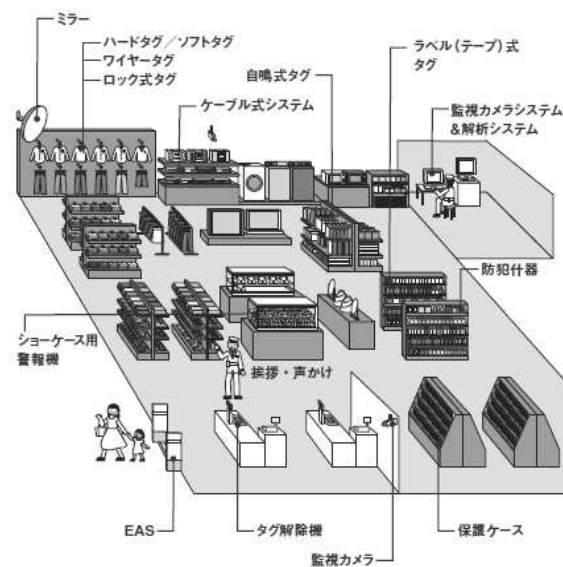
・・・・・・・・・・注釈・・・・・・・・・・

※1 万引防止システムとは、万防防止のためのあらゆるハード対策機器と人的対策の連携した全体像を意味します。具体的には、EAS機器、防犯カメラ、ミラー、セキュリティケースや防犯什器、顔認証機器、万引に強い店舗設計、棚卸・在庫管理、警備、それらの集中コントロールを含む万引犯罪防止全般の対策を包括した全体概念である。

※2 EASとは、一般には商品管理システムや万引防止機と呼ばれています。正式には、Electronic Article Surveillance（電子式商品・物品監視）を略し、周辺の機器やカメラ連動を含めEAS機器という。

※3 2013年度万引防止機器ロス対策報告書では、EAS機器導入後の平均削減率は23.7%であった。

※4 2009年に経済産業省が発表した「商業統計」によると、対象となる小売業事業所の年間売上高は98兆2,044億5,100万円。全国万引犯罪防止機構が調査した同年度の資産ロス率は0.94%、不明ロス高における万引き被害の割合が約50%だったことから全国的に見た万引きによる被害額は4,615億円と推定することができる。平成22年に開催された全国万引き防止官民合同会議の席上で発表された。



### ＜本日の配布資料＞

- ・日本万引防止システム協会 平成 27 年度通常総会 議案書（本書類）
- ・記念講演用資料&万引対策をめぐる近年の出来事
- ・当協会パンフレット
- ・各電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針（総務省）
- ・セキュリティショー2016「万引防止・ロス削減ゾーン」の出展企画（日本経済新聞社）
- ・管理者用万引き防止ポケットマニュアル
- ・夏期 万引防止セルフチェックのお願い
- ・平成 27 年度万引防止年間チャート
- ・封筒